



AFTER リノベーション後の外観。屋根の茅葺は残し、その表面をガルバリウム材で覆うことで良い状態を維持。庭を愛でられるように設備も増設された



漆喰は調湿機能に優れ、湿度の高い日本の気候に適した壁材。職人の腕の確かさが伝わる漆喰の塗り壁も、「風のくら」なら空間ごとに異なる塗り方が確かめられる



風のくら 古民家再生 住宅展示場 kaze no KURA

自然素材を用いながら美しさを追求する日本建築の魅力が息づく和室。掛け軸の代わりにタペストリーを飾るなど、「ハウスランド社」らしい演出のアイデアも魅力

自然が奏でる「本物」ならではの質感に魅せられる



BEFORE 施工前は日本各地で観られる数々の古民家だった。新建材で造られた増築部分は朽ちていたが、天然の木材で造られた母屋は活かすことができた

「せっかく山里にあるので、ここで食事をしたり、庭先の縁側でコーヒーを飲んでくつろいだり。自然の中で過ごす気持ちよさもぜひ知っていただきたい。だから、「風のくら」の周りはこれからも少しずつ変えていきます。ぜひお楽しみに！」

季節は春。そろそろ周辺の山肌には新芽が吹き、庭のはずれに伸びていた桜の木に花が咲く頃だ。自然とも調和する建物「風のくら」がどれだけ心地よく、暮らしやすいか。気候が良いこの季節に、ぜひ体感してほしい。

ショールームを、蔵の2階は屋根裏をリノベーションしたオーティオルームを設けた。ここもまたインテリア好きにとっては空想が広がる空間だ。

そしてなんと、「風のくら」のリノベーションは、今も少しずつ継続している。撮影に訪れた日はちょうど玄関に新しいアプローチが、裏庭には花壇やパーベキューテラスが整えられていた。

「せっかく山里にあるので、ここで食事をしたり、庭先の縁側でコーヒーを飲んでくつろいだり。自然の中で過ごす気持ちよさもぜひ知っていただきたい。だから、「風のくら」の周りはこれからも少しずつ変えていきます。ぜひお楽しみに！」

実際に見る「本物」の素材は、質感そのものに説得力があり、ただ在るだけで見惚れる美しさがある。こうした素材に少しでも触れてほしいと、隣接する蔵には様々なタイルを揃えた

「ここまでの古民家をお持ちの方はそう多くはないと思います。ただ、躯体の耐久性さえ問題なければ、どのような家も生まれ変わる可能性を秘めていることが分かっていただければ嬉しいですね。もっといえば、「風のくら」を見学しながら、家づくりやリノベーションの夢をふくらませてもらえたら何よりです。」

板張りに掘りこたつを造作したりベングや、凜とした空気感までもが美しい和室。そしてイギリスのアンティーク家具が似合いそうな優美な寝室と、「ハウスランド社」が、これまで以上に様々な住まいを手がけてきたかがよくわかるはずだ。

「室内の壁はすべてスベイン漆喰を塗っていますが、漆喰の色や塗り方によって、どれだけ雰囲気が変わるのかがよく分かっていただけだと思います」とスタッフ。同じように、トイレやパウダールームも、それぞれ異なるタイルを用いながら、使いやすくデザイン性に長けた空間が提案されている。

「ここまでの古民家をお持ちの方はそう多くはないと思います。ただ、躯体の耐久性さえ問題なければ、どのような家も生まれ変わる可能性を秘めていることが分かっていただければ嬉しいですね。もっといえば、「風のくら」を見学しながら、家づくりやリノベーションの夢をふくらませてもらえたら何よりです。」

Model House

古民家再生 住宅展示場
「風のくら」
福岡県筑紫野市大字山口2122番地

古民家再生モデル住宅
和の家「吉木」
福岡県筑紫野市大字吉木344-1

Company Data

株式会社 ハウスランド社
吉木事務所
福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL. 092-922-8771 <http://www.h-land.jp>



上、下左、蔵の屋根裏を活かしたオーティオルーム。梁の美しさを間近に感じられる「隠れ家」のような雰囲気も人気。／下右、蔵の1階は様々なタイルが並ぶショールーム。それぞれの色や形、質感が確かめられる



多彩なタイルを使った水廻りの造作も、「ハウスランド社」の強み。透け感のあるガラスタイプや、マットで細長いタイプなど、色や形、表情も様々なタイルを用いて、イメージに合うデザインを提案してくれるので、ぜひ相談を



右左、右右、木や紙、土を用いた日本の古民家は、光の陰影が空間に豊かな表情をもたらしてくれる。夜の雰囲気もまた味わい深い。／左、廊下のディスプレイコーナー。漆喰と木の質感をライティングでドラマティックに生かし、季節の花が映えるスペースに仕上げられている